

木材ジャーナル名古屋・世ぶ

令和8年1月号 No.224

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

二〇二六年
頌春



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

みちしるべ



2026年 新年の干支「丙午（ひのえうま・へいご）」に思う

- 燃えるような情熱と、勢いよく駆け上がる力を象徴する年！！ -

木材・住宅業界の新たな市場領域を創造する多角化戦略

名古屋木材組合
組合長 西垣 洋一

新年を迎え謹んで新春のお慶びを申し上げます。
旧年中は皆様には、組合の活動に格別のご高配を賜り厚く御礼を申し上げます。

2026年の干支は、「丙午」になります。「丙」は、十干における三番目の要素で、五行では「火」、陰陽では「陽」に分類されます。これは、太陽や燃え盛る火を象徴しており、「盛んになる」「明らかになる」といった意味合いを持ち、万物が明るく照らされ、その姿がはっきりと現れる状態、活動的で情熱的な気を表します。「午」は、十二支の一つで、五行では同じく「火」に分類されます。季節で言えば夏の盛り、時刻で言えば正午を指す文字で、「行き違い、交差」という意味から転じ、植物が成長の勢いを最高潮に達し、茂りすぎた状態、躍動的で勢いのある性質を持ちます。このように、陽の火である「丙」と、火の要素を持つ「午」が組み合わさる「丙午」は、火の気が非常に強く重なり合った状態と言えます。そのため、2026年の干支「丙午」は燃えるような情熱と勢いよく駆け上がる力を象徴する年とされています。

昨今の世界経済に目を向けますと、インフレの上昇傾向を抑える金融緩和への期待や、AI関連技術への旺盛な投資が成長の強力な推進力となっています。これらの要素が、2026年にかけて経済を力強く押し上げる成長シナリオの可能性を秘めています。一方で、高市内閣の「責任ある積極財政」は、“有事への備え”を名目に財政支出を拡大し、金融緩和を続けるため、為替円安を助長し物価高騰を加速。同時に、この積極財政による経済安全保障投資と防衛力強化は、対中強硬姿勢を具体化し、日中関係の緊張を格段に高める要因となっています。こうした国際協調の難しさから生じる地政学的な緊張や、各国間の保護主義的な政策の拡大は、引き続き大きな下振れリスクとして潜んでいます。したがって、今後の世界経済の見通しとしては単なる「緩やかな成長」に留まらず、これら両極端な要因の綱引きにより、安定か、過熱か、あるいは不安定な停滞かという、より複雑な局面を迎えることが予想されます。

我々木材・住宅業界においても、グローバルなサプライチェーンの変動、脱炭素化社会への潮流、デジタル技術の革新、そして少子高齢化等による新設住宅着工数の減少等、構造的な変革の波に直面しています。こうした背景のもと、木造化・木質化を推進するのは当然のこととして、新たな市場領域を創造する戦略的な多角化が業界全体の喫緊の課題となっています。例えば、

- ① 非住宅市場に「木造化・木質化ソリューション」という新たな領域の創出
- ② 木材の機能的価値から健康や生産性向上を提案する「ウェルビーイング市場」との融合
- ③ 製材端材をCNF（セルロースナノファイバー）やバイオ燃料などの高性能素材への変換
- ④ 環境貢献を企業の社会的責任（CSR）に留めず、新たな事業活動への展開
- ⑤ 地産地消のサプライチェーンを通じた地域経済の活性化への貢献 等、

木材産業の多角化・多様化は、単なる材料選択の幅を広げるだけでなく、現代社会が抱える多くの課題、すなわち地球温暖化対策、地域経済の活性化、資源の持続可能性等に対して大きく貢献します。今後、これらの技術がさらに進化し普及することで、木材は「未来を築く素材」として、より持続可能で豊かな社会の実現に不可欠な役割を果たしていかなばなりません。

最後になりますが、皆様のご健康と事業発展を心から祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

木産協の役割を広く理解いただく年に



名古屋港木材産業協同組合
理事長 服部 伸一

新年あけましておめでとうございます

旧年中は木産協の活動に対しご理解ご協力いただき心より感謝申し上げます。

昨年10月21日 憲政史上初の女性総理として高市政権が誕生し、積極財政による成長戦略に舵が切られております。

しかしながら日本の住宅需要は人口減少を要因とし長期的に減少傾向にあることには変わりはありません。したがって住宅についての木材需要も厳しい状況が続くと予想されます。

一方、需要はともかく木材の価格の低迷（不適切な価格水準）はさらに大きな問題だと考えます。木材の値段は決して高くありません。木材価格が妥当な水準になるためには住宅会社や住宅購入者の正しい理解が不可欠であります。

さて木産協では飛島村、弥富市、名古屋港管理組合、警察、消防等行政機関との円滑な意思疎通を図り、臨海地域に立地する企業が事業活動を安全、清潔、便利な環境で行えるための活動を行っています。

組合員のご協力のもと様々な活動を日常的に行っており、工業団地の環境や利便性改善に様々な成果を上げています。このような観点から立地する木材業者の全てが木産協に加入することを目指していかなければならないと強く感じております。

特に本年は3月17日(火)13:30より、飛島村公民館分館にて「防災シンポジウム」を行い、想定される南海トラフ大地震に対する私たちが備えるべきことについて学びたいと考えています。木産協ではこれをきっかけに今後とも具体的な防災についての取り組みを進めていきたいと考えております。

新しい年も私達業界をより良くして行く為に皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

KIBOU (木防) プロジェクト



防災シンポジウム

～南海トラフ地震に備えるために～

主催 名古屋港木材産業協同組合
共催 名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会

2026年
日時 3月17日 火 13:30～16:00

会場 飛島村公民館分館 2階講義室
(指定避難場所) 住所: 愛知県海部郡飛島村木場二丁目3番地
TEL: 0567-55-1071

対象 組員企業、名古屋港西部臨海地帯企業連絡協議会会員、各自治体関係者
臨海地区内の法人企業及び個人事業者

プログラム

1. 基調講演
「南海トラフ地震に備える企業の事前対策と復旧対応」
講師: 特定非営利活動法人レスキューストックヤード 代表理事 栗田暢之氏

2. 企業・自治体における防災への取組紹介 交通 防災について 地域で備える防災
・(株)JERA・材惣木材(株)・名古屋港管理組合 蟹江警察署 飛島村役場

3. 災害時に活用できる防災機材紹介
・ダイドードリンコ(株) ・防災グッズ紹介 (RSV)

申込方法 申込用紙にて FAX で申込 (定員になり次第締め切ります。)
2026年1月31日締切

問い合わせ先 名古屋港木材産業協同組合 TEL.0567-57-2017
住所 愛知県海部郡飛島村木場一丁目74番地 FAX.0567-57-2018

参加無料
事前申し込みが
必要です

会場が避難場所の企業におかれ
ましては、この機会を避難訓練
の一環としてご活用いただき、
避難経路をご確認ください。

本シンポジウムは、南海トラフ地震等の大規模災害を想定し、臨海部に立地する事業所が直面する防災・減災の課題について考えることを目的として開催いたします。

長年にわたり地域防災や災害ボランティア活動に取り組み、中小規模事業者が取り組む実践的な防災対策にも詳しいレスキューストックヤードの栗田代表理事をお迎えしての基調講演、(株)JERA・材惣木材(株)・名古屋港管理組合の実践的な防災への取組事例や蟹江警察署による交通 防災についての指針、地域で備える防災について飛島村役場より登壇いただきます。また、災害時に役立つ防災機材の紹介を通して、各事業所における防災対策の見直しや今後の備えに活かしていただく内容となっています。

対象の皆様のご参加をお待ちしております。災害時に“何を準備し、どう行動するか”を考えるきっかけとして、ぜひご参加ください。

☆☆☆ 西部臨海安全ニュース ☆☆☆

自動車盗被害激増中！ 自動車盗対策できていますか？

愛知県内の自動車盗の認知件数が令和7年11月までに1,008件と増加中です。特定の車種が狙われており、中でもランドクルーザー・プリウス・アルファードの被害が多発しています。被害に遭わないためには、複数の防犯対策の組み合わせをすることが重要です。

【駐車時にはタイヤロックやハンドルロックを車に取り付け】
【警報装置で音によりドロボウを排除！】
【スマホ連動型防犯カメラやセンサーライトで駐車場対策を！】

蟹江警察署 生活安全課 生活安全係 TEL.0567-95-0110

◆ 広告コーナー

人と未来のために高い技術を誇るプレカットシステムのトップメーカー

MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

〒441-8019 豊橋市花田町字中ノ坪5-3
TEL 0532-31-1251 FAX 0532-34-1956
URL https://www.miyagawakoki.co.jp/



暮らしの中で、
輝き続けるキッチン

STEDIA

ステディア

発行 名古屋木材組合	発行 名古屋港木材産業協同組合
発行者 西垣洋一	発行者 服部伸一
〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10	〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74
TEL <052> 331-9386	TEL <0567> 57-2017
FAX <052> 322-3376	FAX <0567> 57-2018
【編集】名古屋木材組合広報委員会	【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会